

令和4年度 第2回

小規模ホームあんきな 運営推進会議 報告書

日 時：令和5年7月20日（木） 9：30～10：00

場 所：第1会議室

出席者：9人（利用者家族1名、地域住民代表2名、波根駐在所1名、大田市職員1名、民生児童委員1名、事業所職員3名）

議 題

- 1.登録実績と利用状況について *別紙レジュメ参照
- 2.近況報告（勉強会、定員超過報告）
- 3.外部評価について
- 4.その他

報告事項

1. 登録実績と利用状況について

- ・配布資料により確認をいただいた。

2. 近況報告

- ・利用者に向けて熱中症、脱水症の勉強会を行ったことを報告した。
- ・定員超過の報告について（定員・泊り：6人 通い：15人）
- ・6/27 泊り：1名超過（理由）利用者家族が仕事で出張の為
- ・6/28 通い：1名超過（理由）利用者家族が仕事で出張の為

3. 外部評価関連事項

C 事業所と地域との付き合い方について

- ・5月の運営推進会議で地域の見守り協力を相談させていただいたご利用者について経過報告を行った。早朝や夕方、高温の時間帯に関わらず自宅から長時間出かけてしまう現状が変わらずある。事業所としては利用日に限らず家族と連携を図り、所在確認や落ち着いて過ごせる場所の提供などの対応を行っている。引き続き、地域に於いての見守りやケガや困りごと等の際は事業所へ連絡していただく等の協力を依頼した。

→波根駐在所巡査長より

徘徊される方の対応は初動が遅れると大事に至るケースが全国的に多い。スピード感が重要となるので、施設内で所在不明になった時点で駐在所ではなく大田警察署または110番通報した方が良い。「結果的に見つかって良かったね」で済めばそれで問題ないので躊躇せずに連絡してもらいたいとの意見をいただいた。
今後の法人の離設マニュアルの見直しにも反映させていく。

- ・先月、大津自治会長より囲碁を打てる場所として竹下成果で行えないかとの相談を受け、8/22から場所を提供する事となった。個人情報書類や物品を補完する倉庫も隣接している為、立ち入りをご遠慮していただく箇所へ貼り紙やトイレ場所の説明を行った。

F 事業所の防災・災害対策について

6/21 に夜間想定避難訓練を行い、実施状況と地域の方から評価を受けた。

- ① 地域からのご意見で夜間想定は夜間でしないと実際の動きが出来ないのではないか、暗さの中で行った方が色々と出来ない部分が見えてくるので、利用者の参加人数を絞るなどして実施できないか。
- ② 消火器訓練では新人職員が対象のようであるが地域の方も久しぶりに行き忘れていたところもあり再認識できた。他方で、新人だけでなく何年に一回は職員がやった方が良いのではないか。

→①夜間帯を想定した実際の時間に避難訓練、通報訓練、消火訓練などを部分的に行うように計画していく。地域の方の協力についてもマニュアル化できるように勧めていく。

- ③ 消火器訓練も含めて新人に限らず全職員が担当できるように計画する。

4. その他

中浜自治会長より、前年度に始めた地域貢献としての児童見守り隊についての評価と今年度の取り組みについて教えてほしい。継続的な取り組みであれば経過報告が必要との意見をいただいた。

→あんきなが学校前、GH が金子旅館前での見守り隊を行っていたが金子旅館前は児童の帰宅が把握できない事、また冬季は風も強く利用者の同行が難しいと評価を行い、今年今年度は GH の職員・利用者も学校前で行っている。週 2 回水曜日・木曜日に実施している状況を伝えた。

今後運営推進会議での議題で取り組みについての状況・経過報告を行うことを確認した。